

施策評価シート【重点施策】

個別施策Ⅰ－（２）

多様な担い手が活躍する機会をつくる

基本的な方向性

起業家に対して、創業から経営安定に至る一連の取組を充実させます。また、各産業の新たな担い手に対して、関係機関と連携しながら、事業展開ができる環境を拡充します。さらに、新規成長分野に取り組む事業者に対して、技術革新等の誘発を図り、事業や雇用機会の拡大につなげます。

重要業績評価指標（KPI）

指標名	単位	実績値					31年度 目標値	進捗 状況
		計画 策定時	27年 度	28年 度	29年 度	30年 度		
創業支援件数【年間】	件	93	135	157	152	206	180	A
新たな農の担い手数 【累計】	人	8	17	24	39	49	38	A

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・ 関係機関と連携して、創業環境の醸成から創業後の経営安定化まで創業者を支援したほか、事業者ニーズに即した融資制度や経営課題に対する相談体制を拡充しました。
- ・ 新商品開発や技術開発に関する市内企業と大学との共同研究に対し、費用の一部を補助し、中小企業の技術力向上を支援するとともに、波力発電関連分野での新産業創出促進事業を東京大学生産技術研究所へ委託し、平塚海洋エネルギー研究会の活動を推進した結果、環境省の事業に東京大学生産技術研究所が採択され、平塚波力発電所の実証事業がスタートしました。
- ・ 農作業受託組織へ農業機械等購入費の一部補助を行うとともに、一市二町及び湘南農業協同組合等で構成する湘南地域担い手育成総合支援協議会事業において、担い手の育成・確保を図りました。また、認定新規就農者に対して国の交付金を活用し、就農当初の資金について支援しました。
- ・ 「まちゼミ」等に対する支援を通じて、若手事業者間の自主的な活動を促進しました。

施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・創業環境の醸成から創業後の経営の安定化まで支援することで、市内産業の競争力を強化する必要があります。
- ⇒創業支援等事業計画に基づき、関係機関と連携して一連の創業支援を推進するほか、事業者ニーズに添った融資制度や経営相談等を実施します。
- ・産学連携の補助制度の利用件数が伸び悩んでいることから、中小企業等の産学連携の理解を深める取り組みを進める必要があります。また、波力発電に係るこれまでの取組で得られた知識や技術を他の分野で活用する必要があります。
- ⇒中小企業等のニーズや大学等のシーズを把握するとともに、情報交換の機会を充実させ、産学の連携を推進していきます。また、波力発電装置をシーズとした新産業創出のスキームを研究し、新たなしごとのタネを創出します。
- ・担い手不足を解消するため、新規就農に関わる様々な相談に対応し、新規就農者を確保するとともに、認定農業者の経営基盤強化を支援し、強い経営体へと育成を図る必要があります。
- ⇒関係機関と連携して、農業支援ワンストップ相談窓口を出張して開催するほか、認定新規就農者の確保に向けて、サポート体制を整え、バックアップをしていきます。また、農作業の効率化に取組み、経営規模の拡大を図るなど、意欲ある農業者に対しての支援を充実します。
- ・中心市街地の活性化を促進するため、けん引役となる人材の発掘、育成が必要です。
- ⇒中心市街地の活性化に向けた事業に対し主体的に取り組む組織づくりを推進する中で、中心市街地の活性化を担う人材を発掘、育成します。

関連する【取組】と（事業）

- 【次世代の産業の担い手となる起業家の育成】（起業家支援事業）（中小企業経営支援事業）
- 【企業や大学の有する情報や知識の結合を促すことによるイノベーションの誘発】（産学共同研究支援事業）（波力発電関連分野での新産業創出促進事業）
- 【専門家の派遣による中小企業の販路開拓や経営力強化の支援】（中小企業経営支援事業）
- 【中小企業に対する融資制度の紹介や経営改善相談】（中小企業経営支援事業）
- 【農業の多様な担い手の育成支援や地域農業の活性化支援】（担い手総合対策事業）
- 【中心市街地の活性化のための担い手の育成支援】（商店街にぎわい創出事業）（中心市街地活性化推進事業）